

水圏環境における発光性希土類分子集合体の形成と光機能



長谷川 靖哉

北海道大学・教授

水圏環境における生体環境計測のための検出分子として、水溶性の発光性希土類錯体が現在注目されています。この希土類錯体は極めて長い発光寿命（数百マイクロ秒）を示すことから、時間分解蛍光解析による水溶液中および生体系の状態観察が可能になります。本研究では発光性の希土類錯体およびクラスターにポリエーテル鎖を導入し、それらの分子

会合体形成と光機能分子材料へ向けた応用研究に取り組みます。さらに、水溶性希土類錯体およびクラスターを生体細胞へ吸着することによる細胞状態観察の研究へと展開します。

